

銀漢亭日録



伊藤伊那男

4月25日(水)

▼「読む会」高浜虚子と。六人。毎日新聞鈴木琢磨さん。十二時半閉めて、展枝、いづみさんと餃子屋。

26日(木)

▼六月号原稿終了。これでゴールデンウィークはのんびりできそう。店、水内慶太さん二派。「天為」発行所句会あと八名程。日原傳氏、北京大学から帰国と。

28日(土)

▼月次収支まとめなど。二時「纏句会」。席題に出た鮎の唐揚など。あと握り。終って渋谷で買物と浅酌。

29日(日)

▼故小澤克己さんの「遠嶺」の後継結社「爽樹」の例会にゲストとして呼んでいただく。池袋勤労会館。小山徳夫代表、環順子幹事。句会後、「ライオン」にて親睦会。知己のごとく、楽しく遊ばせていただく。これも俳句冥利ということか。

5月2日(水)

▼雨、夜激しく。二十二時半過ぎに閉めて餃子屋。更に洋酔、展枝さんとゴールデン街へと繰り出しカラオケなど。帰宅三時。やつてしまった……。

3日(木)

▼十六時、石神井の武田禪次、花果家訪問。秋葉男、高水、次郎さんも。食事会。二十二時位まで歓談。

7日(月)

▼発行所「かさぎ勉強会」。川端茅舎について。終って九人店。「や」の麻里伊、九里、十朗さん。

8日(火)

▼新潟の若井新さん俳人協会にて農事についての講演会あり、大阪から朝妻力さん聴講に。あと両氏来店。店は超結社句会「火の会」あり朝妻さんに参加してもらう。十三人。

11日(金)

▼山尾玉藻さんの「火星」今月の五句選送る。発行所は六月号の最終校正、編集会議。あと「大倉句会」終って八人店。店は三ヶ月に一度の「白熱句会」。井上弘美、木暮陶句郎、檜山哲彦、小山徳夫、丁度居合わせた環順子さんにも入ってもらう。元部下尾頭君、皆川丈人氏の紹介の乗松さんなどなど活況。

12日(土)

▼十時、運営委員会。十三時より、「銀漢本部句会」五十三人。昼の天井で胸焼。あと「魚民」で親睦会。来月の「長良川鵜飼吟行会」の件もあり、堀江美州さん岐阜より上京。

14日(月)

▼小澤實氏が「俳句あるふあ」新秀句鑑賞で「天牛の髭の先まで斑を持てり」を取り上げてくれる。店、山元正規さん、早大のクラス会十人。事業部打合せ五人など。二十二時半に閉めて餃子屋。いづみ、展枝、谷岡、小石さん。

16日(水)

▼伊那北同期定例会六人。発行所「はてな句会」。坊城、岸本、肖子さん他で九人。慶大茶道会の先輩栞田さん達四人。その他、久々繁忙。池内けい吾さん、いかなこの釘煮持つてきてくださる。

17日(木)

▼「銀漢句会」あと二十一人来店。「天為」青柳フエイさん来日とて、七人程で寄ってくれる。繁忙。

18日(金)

▼発行所「野村句会」終って八人。閑散。二十一時半には閉める。

20日(日)

▼九時半、スタジオエビス。宝石卸のヨシケイの展示会用写真に杏と親子モデル(宮澤撮影)十三時、多摩センターの兄の

家。恒例の薔薇を見る会。庭に寿司屋の屋台入る。兄、姉、子、孫十数名。

21日(月)

▼「銀漢」六月号発送。「街」主宰今井聖さん編集長の竹内宗一郎さん、天為の方々。「俳句四季」六月号に筑紫磐井氏が「俳壇観測」で「銀漢」を大きく取り上げてくれる。

22日(火)

▼一日雨。スカイツリー開業日と。西村和子さんと慶應の先輩二人(知音)。西村さんは大学の少し先輩。ご主人、私の妻共に京都生れ。同じ頃、癌で亡くなっている。お墓は京都。私の妻も大谷廟に分骨。借金 of 断り方について。①東京は即座にきっぱり。②大阪は、はんに誘ってじっくり話を聞き、最後は自分も苦しいと言つて断る。③京都は？ と宿題をもらう。さて？ 二十二時過閉める。ザイノテーク久々に寄る。

23日(水)

▼山崎祐子、真砂年、三輪初子さんなど。二十二時、閉めて「酔の介」。いづみ、展枝、志峯さん。

24日(木)

▼会計士の藤井先生。発行所は「十六夜句会」。終って九人店。飯田眞理子さん誕生日としてシャンパン、ケーキでお祝い。竹内宗一郎さん、対馬さんなど。

25日(金)

▼発行所「金星句会」あと四人。

26日(土)

▼石原八束創刊、佐怒賀正美さん主宰の「秋」五百号記念祝賀会。またまた「纏句会」とダブルブッキング。零時半より、上野「東天紅」にて祝宴。同席の青柳志解樹、鈴木節子さんと日本酒沢山。十六時前に日本橋「与志喜」に滑り込み「纏句会」の選句、選評。早めに帰宅するが昼からの酒で、

駄目。

27日(日)

▼七月号の原稿書き継ぐ。午後、宮澤が迎えに来てくれて調布文化会館の写真展「伊勢神宮の旅」を見る。あとと宮澤家にて酒盛。

28日(月)

▼七月号の原稿終了。店は「湯島句会」。約百人出句。三十八人集合。

30日(水)

▼「春耕神保町句会」が久々、ひまわり館とて終了後、十人が来店。「沖」「青垣」の広渡敬雄さんなどまずまずの賑わい。あと「大金星」にける緒、展枝さんと。最終電車。

31日(木)

▼NY在住「海程」同人、月野ぼぼなさん帰国。伊那北高校の後輩である。ひと月程滞在と。「天為」発行所句会あと六人程。「爽樹」環さん。「月の匣」水内主宰ほか。

6月1日(金)

▼発行所「大倉句会」あと六人。玲奈、敦子、軈彦、清隆：と若手。

3日(日)

▼「春耕同人句会」中野サンブラザ八階、あと親睦会十数名。帰宅して久々NHKの平清盛見る。

4日(月)

▼事業部打合せ。谷岡、津田、福田、島谷。発行所、「かさぎ勉強会」あと十二人。今日は木下夕爾と。銀漢グループのみの一日。やれやれ。

6日(水)

▼奥、読む会。一平、うさぎ、真砂年、麒麟、岩淵喜代子さん、河東碧梧桐について。他、閑散。

7日(木)

▼水内慶太さん「月の匣」の面々十数名。五日市さん、「銀化」伊達さんなど。